

岩手県で豚熱発生

5月28日、岩手県洋野町の農場において、国内92例目となる「豚熱（CSF）」の発生が確認されました。

環境中のどこにでも豚熱ウイルスが存在するという危機感を持ち、ウイルスを農場へ侵入させないよう、飼養衛生管理基準（農場出入り時の消毒、長靴や衣服の交換、毎日の健康観察、野生動物侵入防止等）の再点検及び遵守徹底をお願いします。

【発生農場の概要】

所在地：岩手県洋野町 飼養頭数：約17,500頭

【経緯】

- 岩手県は、5月27日、同県洋野町の農場から異状がみられる子豚がいる旨、通報を受け、病性鑑定を実施。
- 岩手県の検査により豚熱の疑いが生じたため、農研機構動物衛生研究部門^(注)にて精密検査を実施。 (注)国内唯一の動物衛生に関する専門研究機関
- 5月28日：豚熱の患畜であることが判明。

【対応】

- 当該農場の飼養豚の殺処分及び焼埋却等の必要な防疫措置の実施。
- 農場の消毒や農場への野生動物の侵入防止等の飼養衛生管理基準の遵守に関する指導の徹底。

豚熱ワクチンのみで豚熱の感染を防ぐことはできません。適切な飼養管理を行った上で、適時・適切な接種をお願いします。

農場で豚に異状を認めた際には、速やかに当所へ連絡ください。